

第3回「魅力ある学校づくり」案に係る情報・意見交換会（実施報告）

1. 日 時 平成27年（2015年）8月5日（水）19時00分～21時00分
2. 会 場 庄内公民館3階・集会室
3. 参加者 魅力ある学校づくり連絡会15人
学校関係者：亀谷校長（第六中学校）
市職員：田中センター長・金井センター長補佐・田井（南部地域連携センター）、玉富課長（生涯学習課）計20人
4. 進 行 河合将生さん（office musubime）
5. 事務局 島野参事、長坂主幹、栗山主査、中辻、山本、大住コーディネーター
6. 当日の流れ

○19:00～ はじめに（開会あいさつ）

<主催者（島野）>

- ・本日は、暑い中、第3回「魅力ある学校づくり」案に係る情報・意見交換会にご参加をいただき、ありがとうございます。昼間は、まるでサウナの中にいるかのような暑さでした。本日は、このような暑い中、皆さまに少しでも快適にお過ごしいただくため、部屋を冷やしてお待ちしておりました。
- ・全3回の予定で開催しております当情報・意見交換会も、早いもので、本日が最終回となります。本日も「魅力ある学校づくり」について、皆さまとさまざまな意見交換をさせていただきたいと考えておりますので、忌憚ないご意見をぜひお聞かせください。
- ・進行は、本日も office musubime の河合さんです。いつもどおりの優しい語り口で、皆さんの議論を包み込むように、進行していただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<河合さん>

- ・改めましてみなさん、こんばんは。部屋は涼しいですが、議論は冷え込まないように気を付けていきたいと思っております。
- ・今週、日本で一番気温が低いのは沖縄というニュースを見ました。そのうち避暑地は沖縄になるのでしょうか。お盆の時期になると、地元のことを考える機会が増えます。本日も、皆さまの地元“庄内地域”の「魅力ある学校づくり」について大いに話し合っていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



○19:10～ 第2回にいただいたご意見・ご質問に対する回答（事務局・島野より報告）

前回、第2回でいただいた小中一貫教育についてのご意見・ご質問を抜粋し、お答えしました。

●詳しい内容は、別紙（「教えて！島野先生」）を参照ください。



○19:25～ グループワーク

これまでの意見交換を踏まえて、「さらに気になること」、「もっとじっくり話したいこと」、「学校再編に向けて考えるべき・詰めるべき論点」などをグループで話し合い、その内容を付せんに書き出し、模造紙に貼ってまとめていただきました。

最後に、各グループで話し合ったことを全体で共有するため、グループ発表をしていただきました。



<グループで出た主なご意見>

	不安・疑問	感想・期待	解決策・提案
教育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫の九年間の学年区分は！？ ・学級数が少なすぎる ・今の人数ではクラブ活動できない ・中学校にあがった時のギャップ 小学校ごとにそれぞれ差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中の交流がより進む！！ ・小中一貫校一般論はわかったでは、庄内にとってどうなのか？ 議論が必要！ ・小中一貫校・小中連携の良さとは。期待 	
生活指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・たくましい子ばかりでない しんどい子もいるし・・・ ・問題のある子もいる ・いじめ⇒登校拒否 ・高校入った時にひとりぼっち感 ・体の発達と心の発達 		
教職員体制	<ul style="list-style-type: none"> ・先生負担の片寄り 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の協力が進む ・先生方の連携どこまでできるか 期待 	
通学路	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学を強いられるこどもたちも出てくる恐れ有り ・校区が広がると通学路の安全確保が心配 		<ul style="list-style-type: none"> ・2中4小で如何か！！ ・スクールバス利用！ ・防犯カメラの設置 通学路の安全点検

<p>地域連携・まちづくり</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・新たに小学校・校区自体を考え直す ・牛立庄本線の南北で分ける ・小学校区を分けなくていい ・庄内は道が東西に分かれている事 ・庄内小と六中に南部コラボ ・中央に位置して便利だから ・地域自治。社協・福祉など ・学校外でのつながり（スポーツ・塾など）大切 ・それぞれの気持ちを新しいまちづくりへ 	<ul style="list-style-type: none"> ・コラボは駅近く ・100円の朝ごはん、100円のばんごはん
<p>学校再編について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の名称、第〇中学校という名称をどうする？（学校再編の課題） ・分割校の場合、人員配置・距離感への不安 ・A校・B校以外のC地点が見つかればよいナ… ・行政が考えた再編案がそのまま通ってしまう（反論できない）ことにならないか？ ・ペンキ塗り替えだけではがっかり…さびしすぎる！ ・歴史もあるし・・・庄内村、豊中市 ・中学校番号制やめよう？ ・分割校には分割制度の良さがある ・今いる自分の学校が好きなのに、学校なくなるの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・分割登校の問題解消！！に期待以前（過去）にはきょうだい別の学校に進学した事例有 ・分割校が無くなることで、9年間を通した人間関係がつけられていく ・分割校では、中学校で新しい友だちとの出会いがあり、関係が広がる、リセットされる ・「統合」というイメージが？ ・新しい学校をつくる！ ・分割校はなくす？ ・2つ3つの小学校が1つの中学校に集まってくるのがちょうど良いかな 	<ul style="list-style-type: none"> ・E X. 他市状況 4・3・2の例、5・4の例、6・3の例… ・学校再編にあわせた地域団体の再編&スリム化

<グループ発表の主な内容>

1班

- ・理想的なことを話すのはいいが、現実的な話になると、課題が多くあり、困った。
- ・学校規模のことを考えて2中4小にするのがよい。
- ・どこの学校を残すのか、残さないのかという具体的な話はあえて、まだ話さなくておくべきだということになった。
- ・中学校の名称は、番号ではなく、地名にする方がよい。
- ・学校再編によって、遠距離通学を強いられる子どもたちが出てくるかもしれないので、どのように対応していくのか課題がある。
- ・環境のせいにして（友だちがみんな遊んでいるから）、勉強しないというずるい気持ちが子どもたちにみられる。小中一貫校が出来たからといって、子どもたちのそのような気持ちは簡単には変わらない。
- ・生活課題や学力課題を抱える子どもたちが多く中で、学校教育だけで、課題を解決するのは難しいので、学校と福祉などさまざまな分野と協働して、子どもたちをサポートしていく必要がある。
- ・庄内公民館などで、子どもたちの学習サポート事業が開催されているが、今後、南部コラボにその機能が集約されていくのではないかな。



2班

- ・今ある 3 中 6 小のどの学校を残すのかという議論になると、必ず揉めるので、すべての学校を閉校にして、新しい学校をつくる方がよい。
- ・現在の小学校区を残して、2 中 4 小とするのが理想的である。小学校区は、縦割りにすると校区がばらばらになるので、横割りする方がよい。また、中学校区は、大阪府道 152 号庄本牛立線を境にして、南北に分けて、それぞれ中学校を配置する。使用しない校舎は、公民館など地域コミュニティの拠点にする。
- ・新しくできる学校の名称は、数字ではなく、地域に密着したものにすることがよい。
- ・六中と庄内小の敷地に、南部コラボを建てて、市役所や福祉関係の機能を集約すればよい。
- ・地域コミュニティをどのように編成するのかということに関しては、校区ごとの地域コミュニティは存続させて、それぞれの拠点で活動すればよい。



3班

- ・学校が再編された際には、地域の諸団体、例えば、健全育成会や地域教育協議会なども、再編成せざるを得ない。色々な団体が同じようなことを行っているのだから、学校再編を機に整理するのもよい。
- ・学校の数が減るのは避けられない。学校の数が減ると、通学区域が広がり、児童・生徒の通学路の安全確保が課題となる。難しいかもしれないが、スクールバスや防犯カメラを導入して、通学区域を整える必要がある。
- ・財政難の中で、新しい学校を一からつくるのは難しいが、今ある学校のペンキを塗り替えただけで、新しい学校を作りましたというだけでは、市民は失望するだろう。



4班

- ・朝ごはんを食べずに学校に来る子どもたちが多く、100 円でご飯とみそ汁などの朝ごはんを地域で提供できないか。また、保護者が夜遅くまで仕事をしているために、夜ごはんを食べるのが遅い子どもも多いということで、1か月に1度ほどのペースで夜ごはんも提供できればよい。子どもたちだけでなく、一人暮らしの大人も多いので、大人も子供も一緒に食べられるような空間ができればなおよい。ただ子どもに食事を与えるだけでなく、一人でご飯を作って食べられるようになるように育てていくことが必要になる。
- ・今の学校規模では、児童・生徒数が少なく、充実したクラブ活動が出来なかったり、イジメにあったときに逃げ場がなく不登校になったりするので、2,3 の小学校が 1 中学校に進学するのが、人数的に適當である。
- ・分割進学は弊害も多いが、少人数で進学してくる子どもたちはたくましく育つというメリットもあるのではないか。
- ・小中一貫教育では、切磋琢磨する機会がない“ぬるま湯”の状態で育つことになるが、それはそれでメリ



ットがあるのではないか。

- ・学校が再編されても、豊中市独自の分館制度はこのまま存続させた方がよい。
- ・地域の歴史を大事にしつつ、一方で、新しいまちづくりをすることも必要なのではないか。今までのコミュニティの形など、良さは残しつつ、新たな連携を作っていくことが求められる。
- ・確かにしんどい子どもたちはいるが、「庄内は悪い」というレッテルを張りつけるのではなく、子ども一人ひとりの良さを引き出してあげるような「魅力ある学校づくり」が大事である。
- ・学校再編を考えるときに、子どもたちの教育環境のことだけを考えていくのか、それとも、公民分館など地域コミュニティの兼ね合いを含めて考えていくのか。行政は、これからどのような考え方で、学校再編を検討していくのか示したほうが良い。例えば、「中学校は、六中と七中が統合して、新たな名前の中学校をつくります。」などという具体的な話を出してもらったほうが、地域から活発な意見が出るのではないか。

○20:50～ おわりに（閉会のあいさつ）

<主催者（長坂）>

- ・本日は、第3回「魅力ある学校づくり」案に係る情報・意見交換会にご参加いただき、ありがとうございました。最終回ということで、今日、一定の区切りを迎えましたが、今後もみなさんのご意見・ご提案を参考にさせていただきたいと思っておりますので、何かございましたら、ご遠慮なく、ご連絡いただきたいと思います。
- ・今後も、この「魅力ある学校づくり」連絡会のつながりを持ちたいと思っておりますので、適宜、文書、メール、ホームページ等で情報交換をさせていただきたく考えております。また、このような意見交換会を開催する際は、みなさんに案内させていただきますので、ぜひ、お誘いあわせのうえ、ご参加いただきますよう、よろしく申し上げます。このたびは、ありがとうございました。



<河合さん>

- ・本日もちまして、一旦、「魅力ある学校づくり」案に係る情報・意見交換会は終わりますが、いつも申しておりますとおり、「魅力ある学校づくり」の主役は皆さんですので、ご意見・ご提案がありましたら、ぜひお気軽に事務局までご連絡していただきたいと思います。
- ・このたびは、3回にわたり、「魅力ある学校づくり」に向けて、さまざまな情報、意見の“キャッチボール”をさせていただきました。皆さん同士、拍手をして終わりたいと思います。ありがとうございました。